

みやぎ高度電子機械
産業振興協議会



令和8年度 事業計画（案）

令和8年6月24日

みやぎ高度電子機械産業振興協議会 総会



目 次

1 背 景

- (1) 新・宮城の将来ビジョンの体系
- (2) 宮城県の製造品出荷額等の推移

2 令和8年度の活動方針等(案)

- (1) 令和8年度の活動方針等
- (2) 事業体系
- (3) 令和8年度基本方針
- (4) 令和8年度重点分野の取組方針
- (5) 重点分野の内容変更
- (6) 令和8年度重点テーマの取組方針
- (7) 重点テーマに基づく事業計画
- (8) 事務局体制

3 令和8年度 事業計画概要(案)

- (1) 総会・講演会・交流会、幹事会等、事業企画ワーキンググループ
- (2) 協議会事業
- (3) 主要スケジュール

4 令和8年度 県の主な技術開発・取引拡大等支援事業



1 背景

- (1)新・宮城の将来ビジョンの体系
- (2)宮城県の製造品出荷額等の推移①
(全体)
- (3)宮城県の製造品出荷額等の推移②
(高電分野)

1 (1)新・宮城の将来ビジョンの体系

◇県政運営の理念 富県躍進！“PROGRESS Miyagi”～多様な主体との連携による活力ある宮城を目指して～

◇持続可能な「未来」づくりに向けた横断的な視点

「人」づくり

持続可能な未来を担う子どもを社会全体ではぐくむとともに、誰もがその人らしく活躍できる環境を整備するなど、富県躍進を支える「人」づくりを推進します。

「地域」づくり

地域の特色や資源を生かしながら、「しごと」や「くらし」の質を高め、魅力あふれた持続可能な「地域」づくりを促進します。

イノベーション

先進的技術の活用や異分野との融合など、これまでにない新しい視点により、デジタル化の推進や新産業の創出、地域課題の解決につながる「イノベーション」を促進します。

SDGsの推進

◇新・宮城の将来ビジョン(2021～2030)

基本方向

富県宮城を支える県内産業の持続的な成長促進

社会全体で支える宮城の子ども・子育て

誰もが安心していきいきと暮らせる地域社会づくり

強靱で自然と調和した県土づくり

関係取組

●産学官連携によるものづくり産業等の発展と研究開発拠点等の集積による新技術・新産業の創出

●宮城が誇る地域資源を活用した観光産業と地域を支える商業・サービス業の振興

●地域の底力となる農林水産業の国内外への展開

●時代と地域が求める産業人材の育成と活躍できる環境の整備

●時代に対応した宮城・東北の価値を高める産業基盤の整備・活用

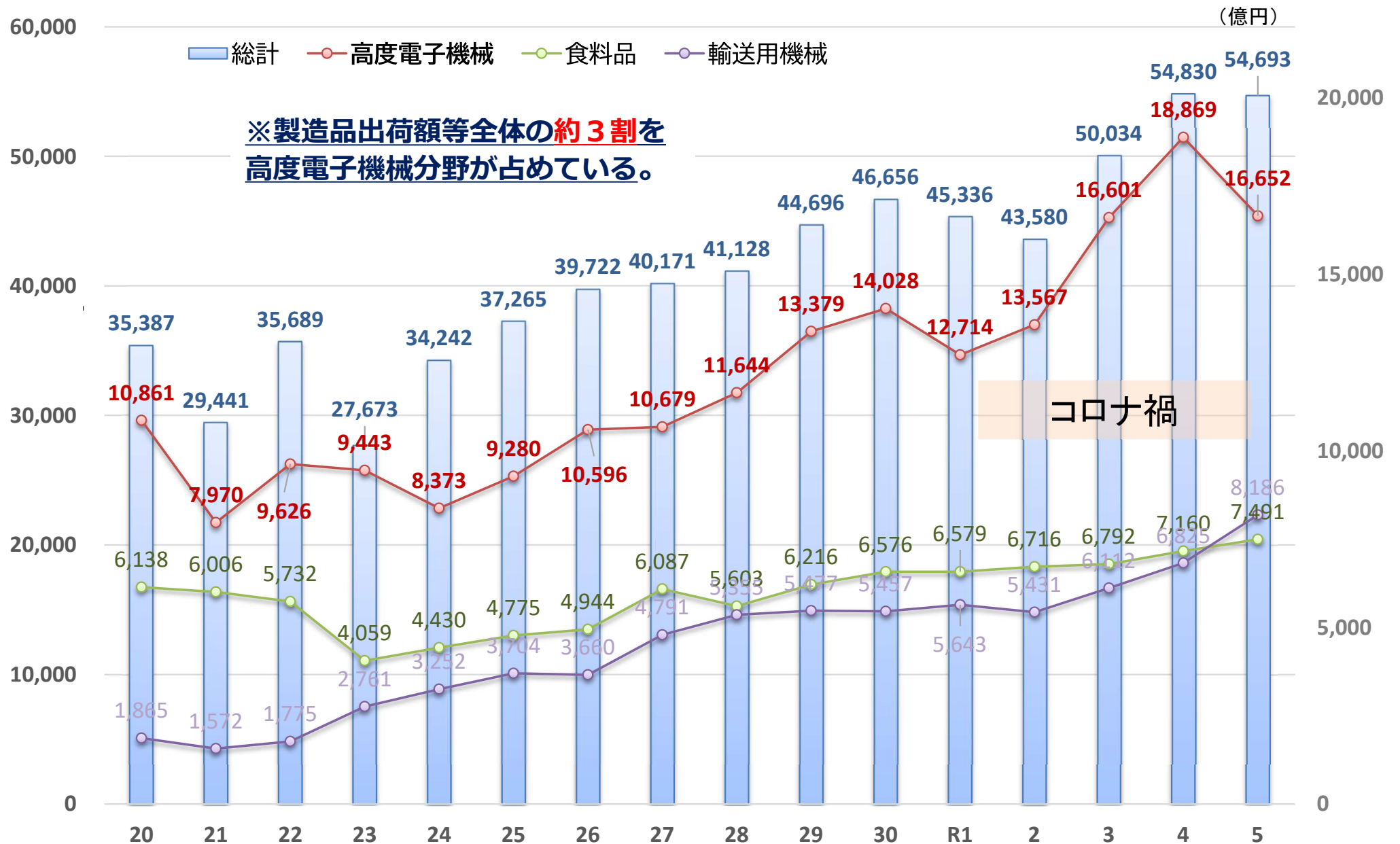
8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



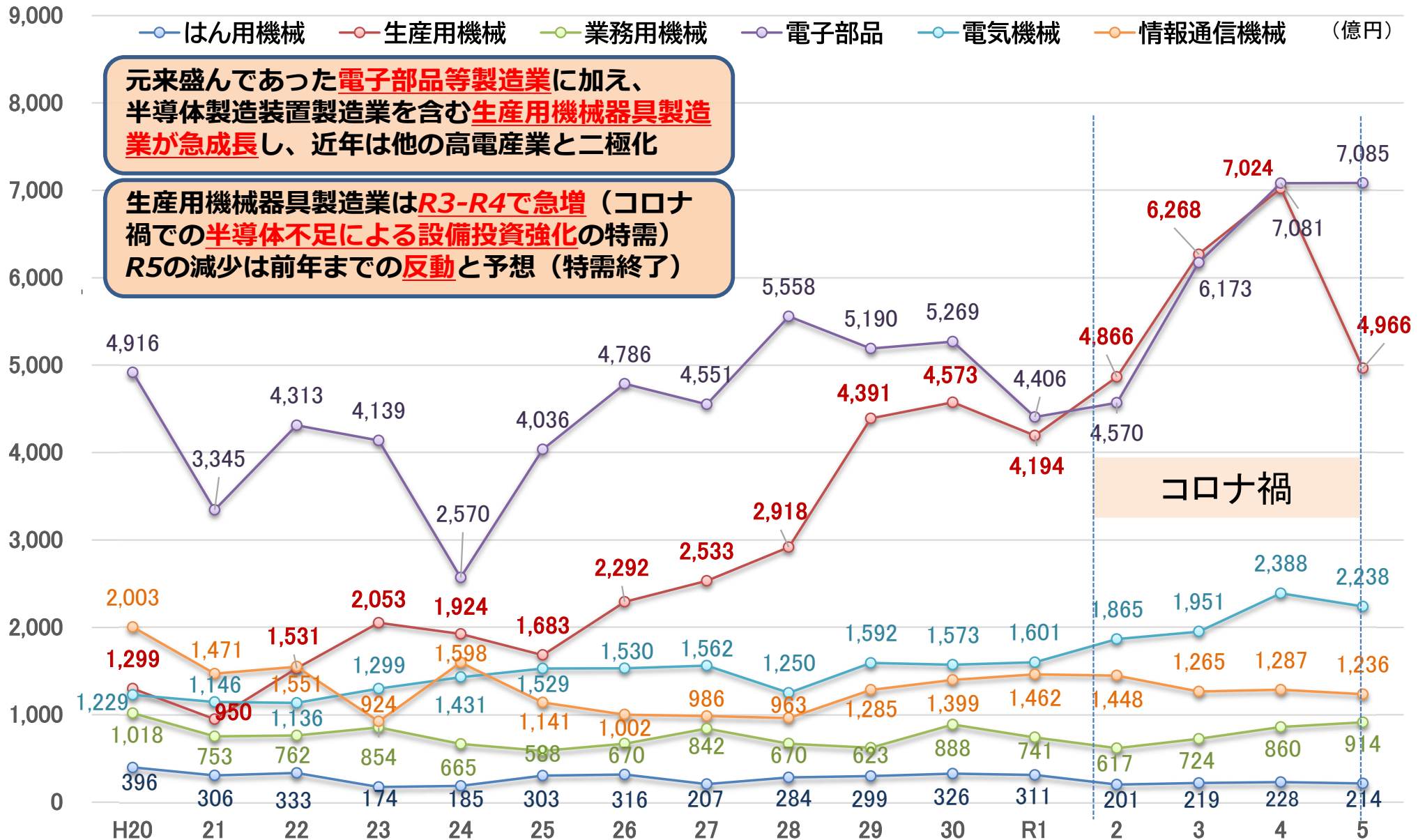
1 (2) 宮城県の製造品出荷額等の推移①(全体)



※R2までは工業統計調査、R3以降は製造業事業所調査データ(e-STAT)により作成。

工業統計調査は4人以下の事業所は対象外であったが、製造業事業所調査では全事業所が対象となるため、正確な比較はできない。

1 (3) 宮城県の製造品出荷額等の推移②(高電分野)



※R2までは工業統計調査、R3以降は製造業事業所調査データ(e-STAT)により作成。

工業統計調査は4人以下の事業所は対象外であったが、製造業事業所調査では全事業所が対象となるため、正確な比較はできない。



2 令和8年度の活動方針等(案)

- (1) 令和8年度の活動方針等
- (2) 事業体系
- (3) 令和8年度基本方針
- (4) 令和8年度重点3分野の取組方針
- (5) 重点分野の内容変更
- (6) 令和8年度重点テーマの取組方針
- (7) 重点テーマに基づく事業計画
- (8) 事務局体制

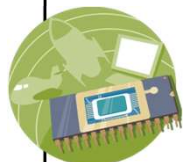
2 (1) 令和8年度の活動方針等

【目的】

富県宮城の実現に向けた、地域の一体的取組による高度電子機械産業の活性化

【背景】

- ① 大手電機・電子部品メーカーとの関係で培ってきた精密部品加工技術基盤の存在

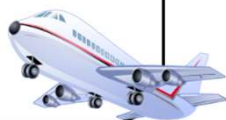


- ② 東北大学をはじめとする次世代技術シーズと産学連携環境の充実



- ③ 地域企業の新市場への参入意欲の向上

- ④ 変化する社会情勢への対応（人材不足、物価高騰、原材料不足等）



活動方針

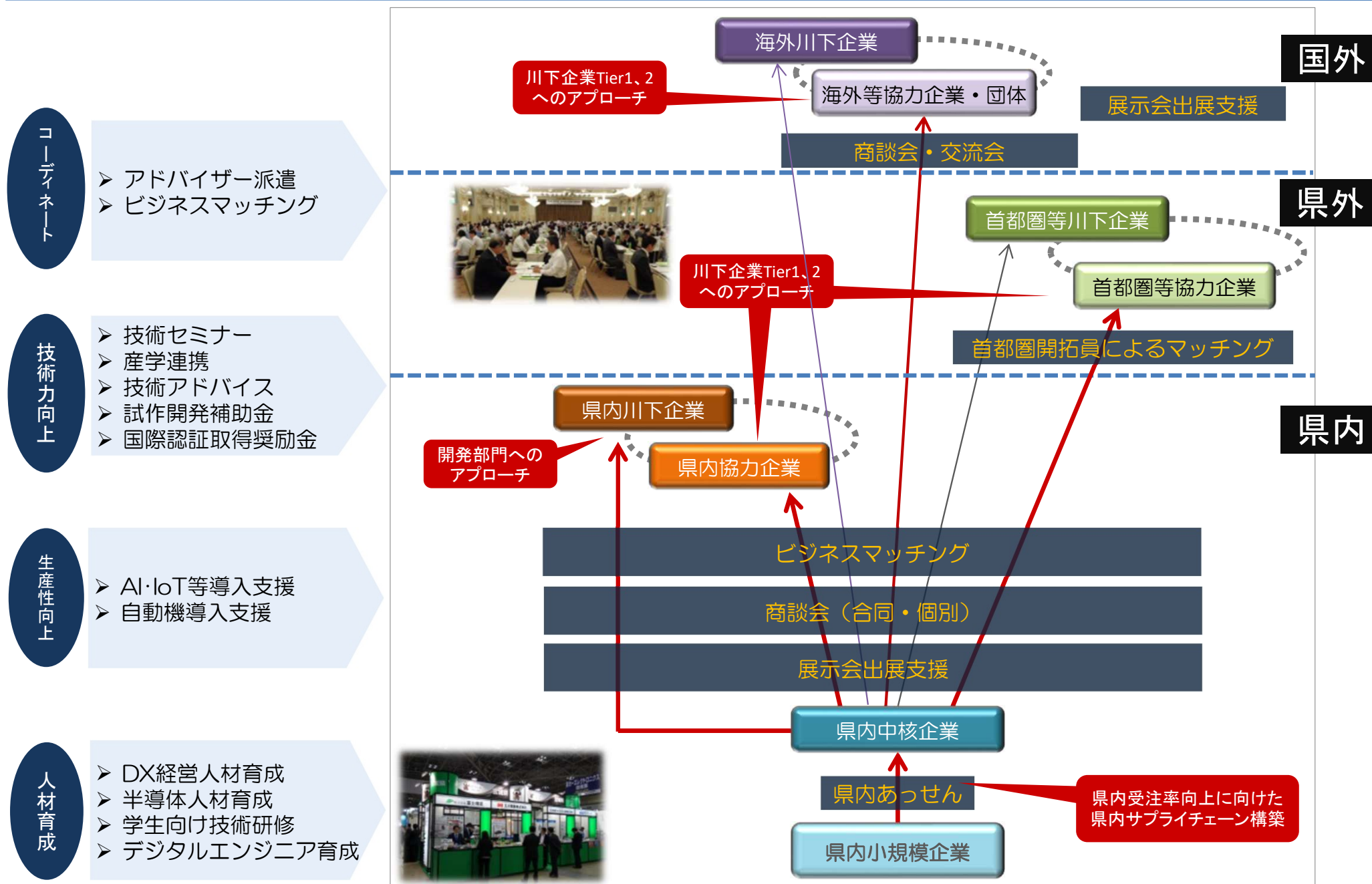
- ◆ 高成長・高付加価値市場への参入を実現する地域中核企業の創出・地域内ネットワークの構築
- ◆ 社会情勢に対応した経済活動と強靱で持続可能な企業体制の構築
- ◆ 魅力ある企業の創出、質の高い雇用の創出

【狙い】

- ① 高度電子機械産業の振興に向けた会員の意識醸成
 - ② 相互理解、連携交流の促進による会員ネットワークの構築・強化
 - ③ 高成長・高付加価値市場への参入の実現及び関連企業の集積促進
 - ④ 地域連携（産産連携・産学連携）、技術高度化、研究開発の推進
 - ⑤ 宮城を中核とした東北地域における高度電子機械産業の振興・発展
- 〔広域連携〕
- ⑥ ^{NEW} 海外展示会への出展等を通じた新規取引先の獲得・技術連携等
 - ⑦ 地域一体となった産業人材の育成
 - ⑧ 製造現場のデジタル化推進による生産性向上や競争力の強化



2 (2) 事業体系



2 (3) 令和8年度 基本方針

取引創出・拡大に向けた営業力・競争力の強化

- ✓ 様々な**マッチング機会**を通じた国内外からの取引創出・拡大に向けた支援
- ✓ 台湾等の半導体先進地等における**海外企業からの新規受注獲得**
- ✓ 国や川下企業等の成長戦略を踏まえた**サプライヤー支援**
- ✓ **経営マインドの向上や展示会**等における営業力・交渉力の強化に向けた支援
- ✓ 川下企業の研究開発部門や首都圏等川下企業の**Tier1、2へのアプローチ**を強化
- ✓ **国際認証取得や試作開発補助金**などの積極的な活用

地域連携による技術高度化、人材育成

- ✓ **交流機会の創出**とネットワーク構築支援
- ✓ テクスタ宮城との連携による**新たなイノベーションの創出**
- ✓ 次世代放射光施設「**NanoTerasu**」を活用した技術開発等の検討
- ✓ 産業支援機関・団体等と連携した**若手経営者のネットワーク形成**支援
- ✓ 産学官連携による地域一体となった**産業人材の育成**

中小製造業のデジタル化の推進

- ✓ 県内全域でのAI・IoT等の内製化による活用を目指した**身の丈DXの推進**
- ✓ 生産性向上のツールである**AI・IoT等の導入支援**（AI・IoT等導入補助金の活用推進や地元IT企業とのマッチング等）
- ✓ デジタル技術を活用した**生産性向上等の成功事例**等の共有と横展開
- ✓ 再エネ・省エネ設備の積極導入による**物価高騰への対応**

2(4) 令和8年度 重点分野の取組方針

半導体

- 大手半導体製造装置等メーカーの研究開発部門やtier1との取引拡充
- 大手半導体製造メーカーやその関連企業と県内企業の協業促進
- 台湾等の半導体先進地等における海外企業からの新規受注獲得
- 東北大学との産学連携による次世代技術市場への参入促進
- 他分野からの参入を促進するための半導体業界の理解促進

エネルギー

- リチウムイオン電池活用促進をはじめとした、新エネルギー関連設備の開発及び販路開拓

医療・健康機器

NEW

医療・健康・福祉機器

- 薬事対応、国際認証取得、試作開発、販路開拓等を通じた事業化支援
- 大手メーカー等とのマッチング機会の提供

航空宇宙

- エンジンメーカー等のtier1、tier2への継続したアプローチ（民間機・防衛関係の外注ニーズの収集）
- 航空機需要の高まりに伴う発注案件の増加への迅速な対応
- 宇宙産業への参入機会創出、大手メーカーとのマッチング機会の提供
- 物流ドローンビジネスの調査研究や参入機会の創出

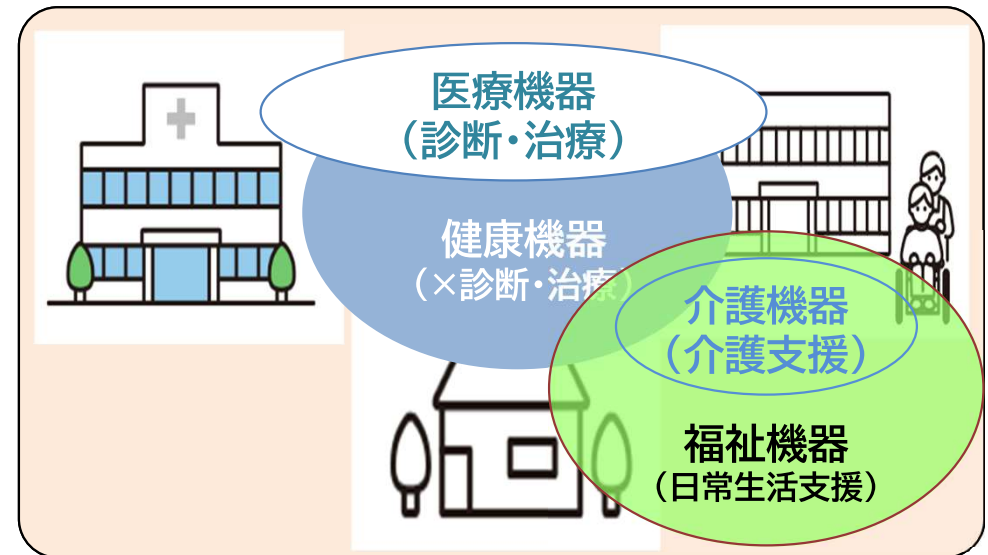
2(5) 重点分野の内容変更

R7.第2回 幹事会にて

重点分野「医療・健康機器」について、下記意見が提起

- 重点分野「健康機器」に関して**将来性を考慮**するのであれば、「介護機器」とした方がよい。
近年、**介護機器が注目**されてきており、技術的にもそこまで高度ではなく、**アイデアが重要**な分野と考える。また、平均健康寿命と平均寿命との差（年数）は、**必然的に介護期間の長期化**を意味するため、そこに**大きなマーケット**があることから、そこをターゲットに支援していくことが効果的と考える。
販路開拓でも、医療機器業界のように顧客を囲い込む事象はあまり見受けられない。
- 「**介護機器**」を含めた概念として、「**福祉機器**」に変更してもよい。

- 「福祉機器」は、世界的な長寿命化・高齢化、介護人材の不足解消等により市場成長性高い。
(2020年0.8兆円→2050年5.6兆円 約7倍)
- 「健康機器」も健康志向の高まり等により市場成長が見込まれる。
(2020年2.2兆円→2050年8.4兆円 約3.8倍)
- 両方とも参入障壁はそこまで高くなく、今後付加価値の見込める電子関連、AI、ロボット関連と親和性のある企業が多い。
- 「**福祉機器**」を追加（ただし、「健康機器」と「福祉機器」の区分が曖昧）
→「**健康機器**」も維持し「**医療・健康・福祉機器**」とする。



医療・健康機器

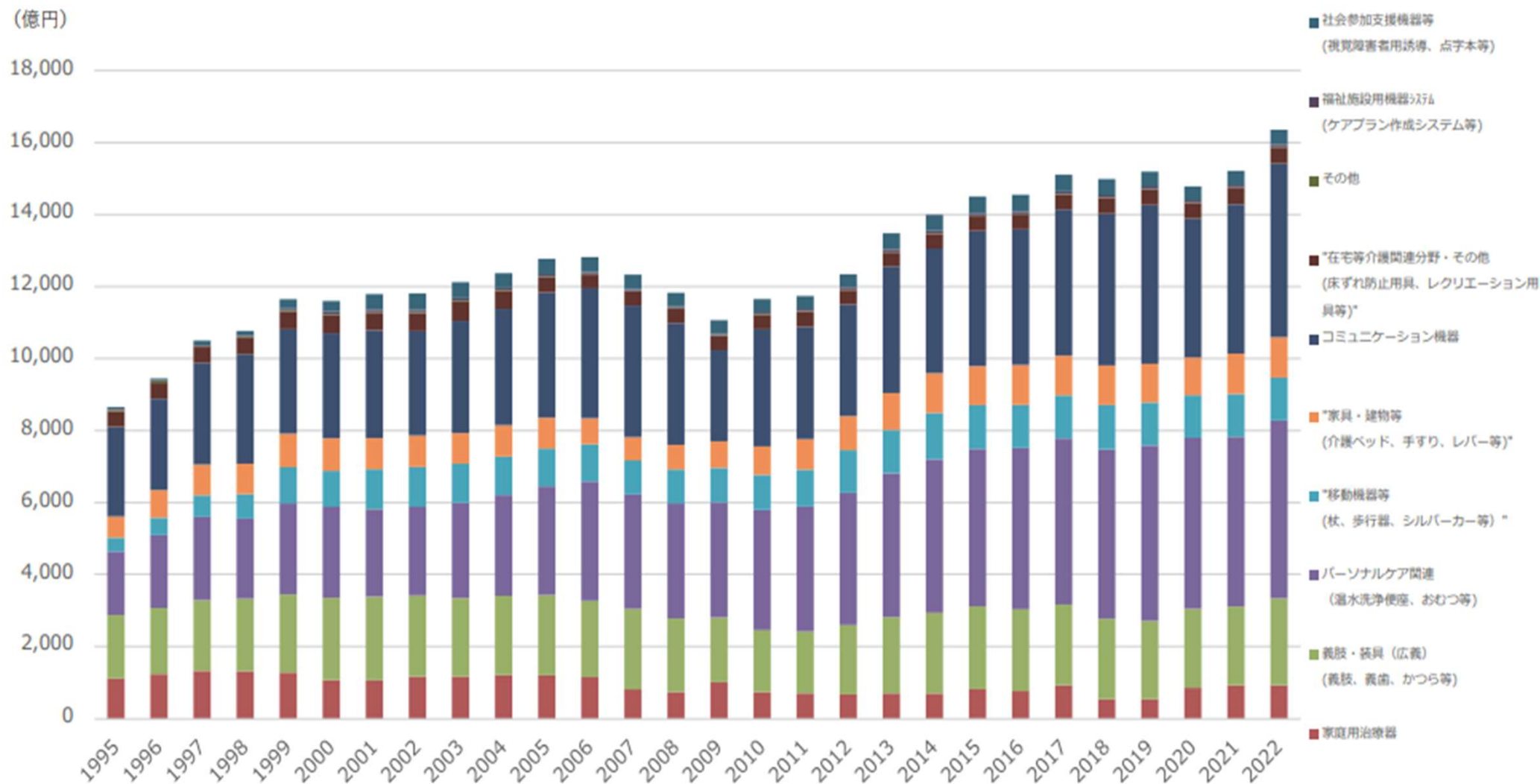
R8.4～

医療・健康・福祉機器

【参考】福祉用具関連産業の市場規模（2022年）

- 介護保険対象となる「福祉用具」における2022年度の市場規模は、約1.6兆円
- 移動機器等（歩行器・シルバーカー）やコミュニケーション機器の割合が大きい

※「健康機器」「介護機器」「福祉機器」「福祉用具」の捉え方（区分）のためか、前ページと市場規模の額は一致しない



経済産業省スライド『日本福祉用具・生活支援用具協会 福祉用具産業市場動向調査報告【2022年版】より作成』から引用

2(6) 令和8年度 重点テーマの取組方針 ^{NEW}

No	重点テーマ(案)	R8事業	狙い
1	海外企業との取引創出・拡大	○台湾BMへの参画支援 ・台湾との取引における指導・助言 ・台湾側の受注ニーズの調査 ・マッチング機会の創出	・新規市場開拓 ・取引創出等に向けた技術高度化 ・大学発コア技術の社会実装
2	大手川下メーカーのニーズ調査、研究開発部門との協業	○大手川下メーカーの開発・部門への県内企業の紹介 ○CR2PJの出展支援	・大手川下メーカー×大学発コア技術の協業によるイノベーション創出 ・県内企業の技術高度化
3	県内企業の技術転用による他産業の課題解決	○農林水産業団体を通じたニーズ探索、マッチング等 ・公設試、グロワー技術交流会等を通じたニーズの調査 ・マッチング機会の創出	・県内企業の技術高度化 ・ものづくり企業の高い技術力を活かした地域貢献（他産業の省力化・自動化推進）
4	SU企業との協業促進による地域イノベーションの創出	○県内ものづくり企業とSU企業、支援機関のマッチング ・県内ものづくり企業のニーズ探索 ・マッチング機会の創出	・大学発コア技術との協業による地域イノベーション創出 ・県内企業の技術高度化
5	宇宙産業への県内企業の参入促進	○東北経産局、宇宙関連市との連携 ○JAXA(官民共創推進系開発センター)との連携 ・大手川下メーカー(協力企業含む)への県内企業の紹介 ・マッチング機会の創出	・JAXA(官民共創推進系開発センター)を核とする宇宙産業への参入促進 ・県内企業の技術高度化

※ 上記の一部事業については今年度も水面下で事業を実施しているところ、重点テーマとして設定し、事業展開していくことで、会員企業の意欲を高め、更なる成果につなげていく

2(7) 重点テーマに基づく事業計画

新規市場開拓

取引創出・拡大

技術高度化

半導体

1 海外企業との取引創出・拡大

令和7年3月県施策「**みやぎ半導体産業振興ビジョン**」に基づく取引創出に向け、**新竹市(台湾)**における半導体産業の集積を踏まえ、本県企業と現地企業との**商談機会拡大**や**技術交流促進**を目的として、令和8年3月に産業分野における**基本協定(MOU)**を締結したことを皮切りに、**海外企業との取引拡大**を図る。

ア) 台湾ビジネスマッチング

新竹市とのMOUに基づき、新竹サイエンスパーク企業やサプライヤーの紹介・折衝機会を創出することで、ビジネスマッチングの深化を図っていく。

- ・ 県内企業と台湾企業とのビジネスマッチング支援
- ・ 『TEEIA × TOHOKU 交流会』への参加(8月上旬@台湾)
- ・ 台湾企業招聘での『県内現地商談会』(9月～2月@県内)
- ・ SEMICON Taiwan(9月上旬@台湾)



イ) ヨーロッパビジネス交流促進

特にオランダのHigh Tech NL(オランダの先端技術分野を代表する産業団体)と宮城県の産業は半導体や精密加工などの製造業分野で親和性が高く、産学官連携による技術開発や取引創出を重視する点が一致しており、県内企業の半導体関連分野への参入拡大やサプライチェーン強化が期待できる。

- ・ オランダ訪問(11月中旬)
→ 県内企業数社同行予定、オランダでは4機関訪問予定

2(7) 重点テーマに基づく事業計画

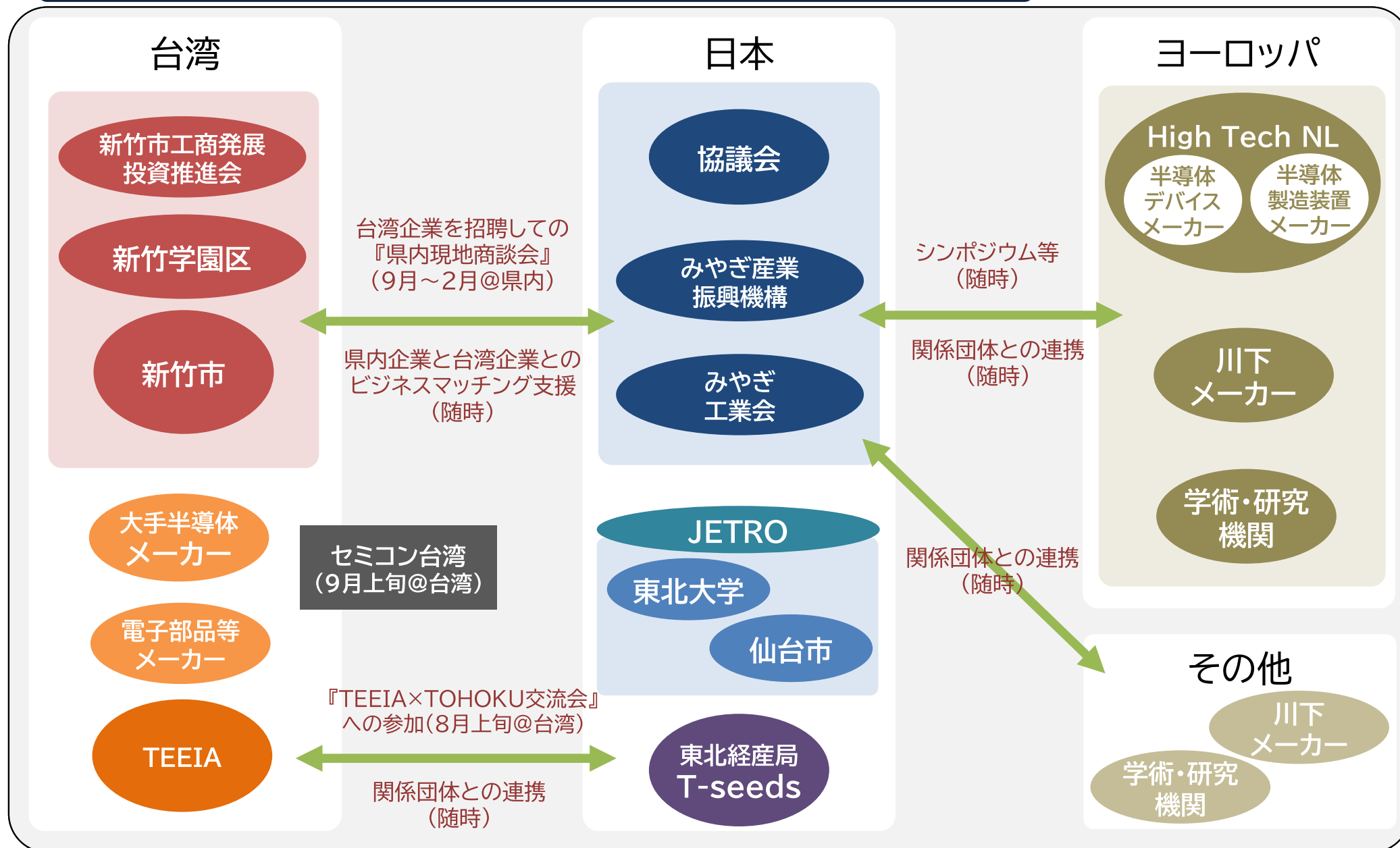
新規市場開拓

取引創出・拡大

技術高度化

半導体

1 海外企業との取引創出・拡大



2(7) 重点テーマに基づく事業計画

地域イノベーション創出

大学発コア技術活用

技術高度化

半導体

2 大手川下メーカーのニーズ調査、研究開発部門との協業

大手川下メーカー×大学発コア技術の協業によるイノベーション創出を促進するとともに、県内企業の新分野参入や付加価値向上を図る。また、共同研究や試作開発等を通じて県内企業の技術高度化を進めるほか、大手川下メーカーとの取引創出・拡大につなげ、県内企業の競争力強化を目指す。

ア) マッチング推進員によるビジネスマッチング

- ・ マッチング推進員による首都圏企業への個別訪問によるニーズ開拓

イ) CR2projectオープンハウスによるビジネスマッチング

- ・ ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)
熊本テクノロジーセンター(本社)での共同開発等の機会創出(10月中旬@熊本)
- ・ ソニーの半導体製造における技術革新を外部企業と協力し加速させるためのオープンイノベーション型プロジェクト

ウ) 大手川下メーカー

- ・ 企業訪問等によるニーズ把握、マッチング調整

エ) 他県半導体関連コンソーシアムとの連携

- ・ 地域を超えてのニーズ調査、情報交換

地域イノベ創出

大学発コア技術活用 技術高度化

半導体

半導體



2(7) 重点テーマに基づく事業計画

地域イノベーション創出

技術高度化

3 県内企業の技術転用による他産業の課題解決

県内ものづくり企業が有する加工技術や自動化技術等の他産業への技術転用により、ものづくり企業の高い技術力を活かした**地域貢献(省力化・自動化推進)**を図るとともに、**異分野連携による新製品・新技術開発**を通じて、県内企業の技術高度化や**新たな市場開拓**につなげる。

ア) 公設試、グロワー技術交流会等を通じたニーズ探索

- ・施設園芸の高度化を重要政策としている「とまと」「いちご」「きゅうり」「パプリカ」の各グロワー技術交流会にて情報収集
- ・施設園芸高度化セミナーにて情報収集

イ) 農林水産系の課題解決によるマッチング機会の創出

- ・企業訪問によるマッチング調整、支援事業案内



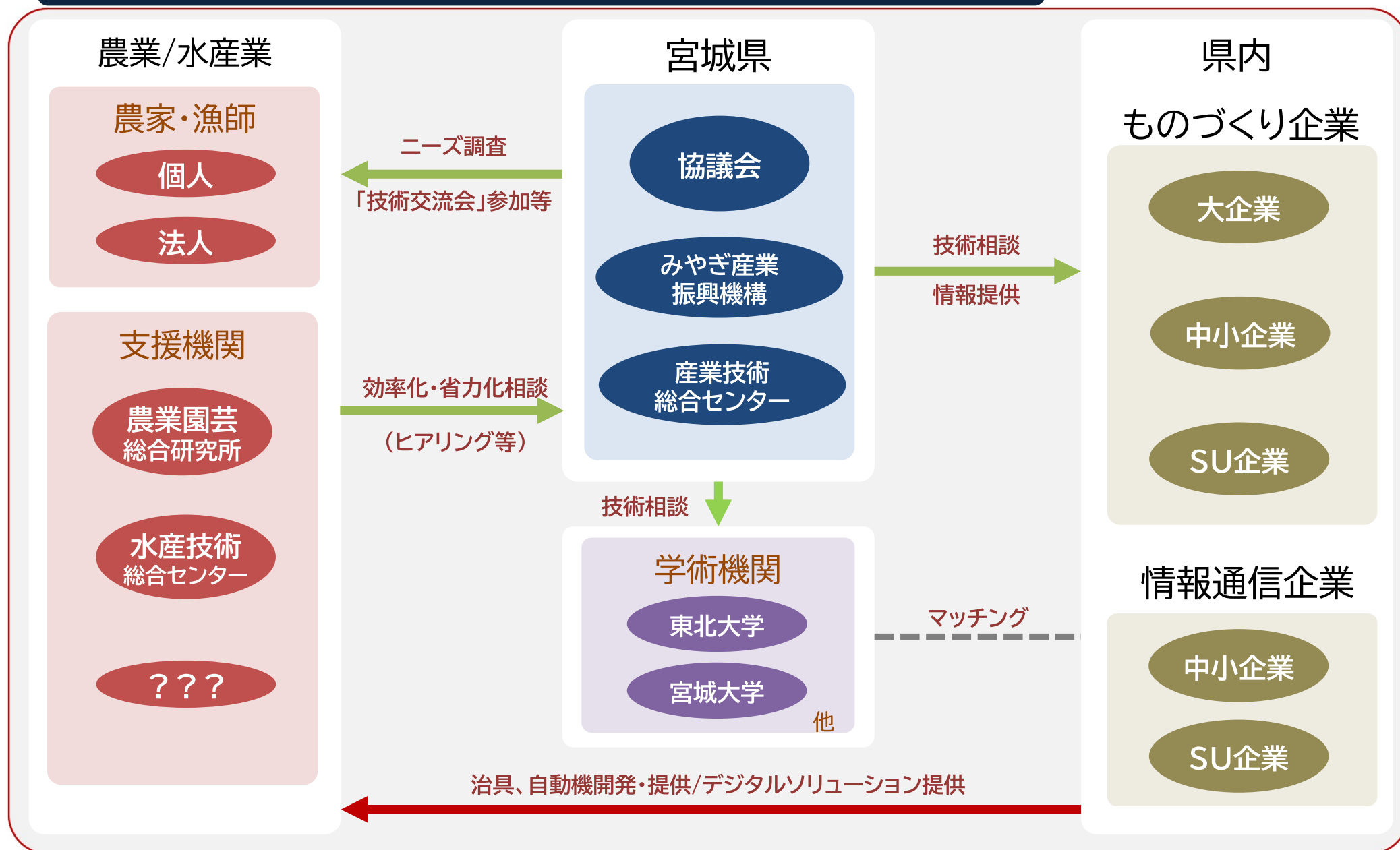
※ イメージ画像

2(7) 重点テーマに基づく事業計画

地域イノベーション創出

技術高度化

3 県内企業の技術転用による他産業の課題解決



2(7) 重点テーマに基づく事業計画

地域イノベーション創出

大学発コア技術活用

技術高度化

半導体

医療・健康機器

航空宇宙

4 SU企業との協業促進による地域イノベーションの創出

県内ものづくり企業とSU企業のマッチングを通じて、**大学発コア技術との協業**による地域イノベーション創出を促進する。SU企業が有する**先進技術**や**新たな発想**と、既存企業が持つ**加工技術**や**製造ノウハウ**を**相互に活用**することで、**新製品・新事業の創出**や**社会課題解決**を図るとともに、県内企業の**技術高度化**や**新市場への展開**につなげる。

ア) オープンイノベーションセミナー兼プログラム説明会(7月頃)

- ・ オープンイノベーションの必要性のインプット及び事業説明
- ・ 基調講演、県内企業や有カスタートアップによるピッチイベント、交流会



イ) 県内ものづくり企業へのアプローチ(8月以降)

- ・ 企業の掘り起し(関係機関との連携含む)
- ・ ヒアリングによる課題の翻訳(技術課題のテーマ化)

ウ) オープンイノベーションセミナー(9月頃)

- ・ 追加発掘したスタートアップや議論が進んでいる企業のリバースピッチ、交流会



エ) 有カスタートアップの募集・マッチング・伴走支援(9月頃)

- ・ ソニーのネットワークを活用し、全国から県内ものづくり企業にマッチするスタートアップを選抜
- ・ 製造業を熟知し、事業創出のサポート経験が豊富な専門家が伴走支援

オ) 成果発表会(翌年2月頃)

- ・ マッチング成果のデモ展示及び共創事例のピッチ
- ・ 県補助金への接続や、次年度以降の共創事例創出に向けた機運醸成



2(7) 重点テーマに基づく事業計画

地域イノベーション創出

大学発コア技術活用

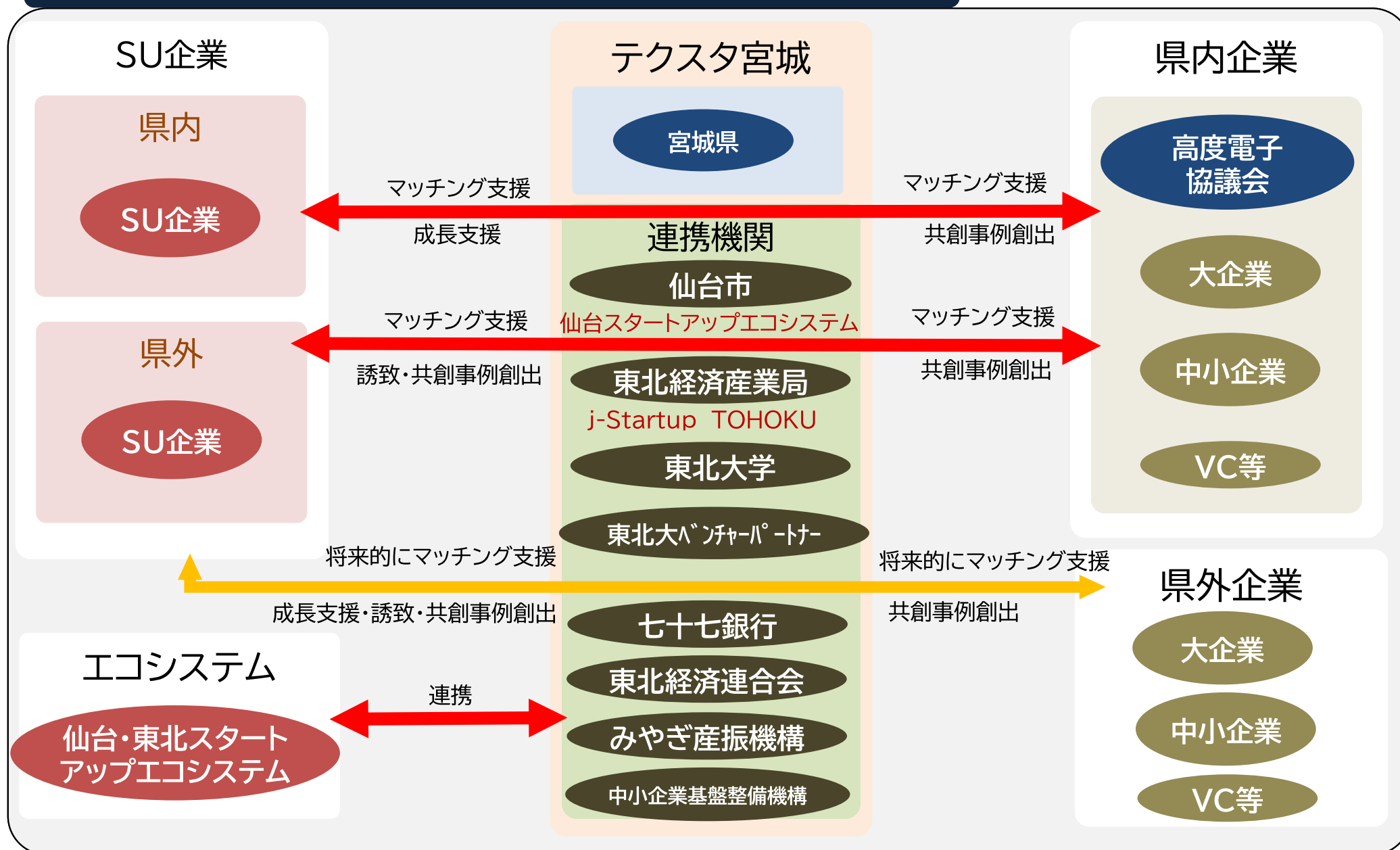
技術高度化

半導体

医療・健康機器

航空宇宙

4 SU企業との協業促進による地域イノベーションの創出



2(7) 重点テーマに基づく事業計画

地域イノベーション創出

参入促進

技術高度化

航空宇宙

5 宇宙産業への県内企業の参入促進

東北経済産業局や宇宙関連自治体(3市)との連携に加え、JAXA(角田宇宙センター)との連携を通じて、JAXA(官民共創推進系開発センター)を核とする宇宙産業への参入促進を図る。宇宙産業が求める高精度・高品質な技術への対応を契機として、県内企業の技術高度化や新たな取引機会の創出を進めるとともに、成長分野への展開による県内製造業の競争力強化につなげる。

ア) 大手川下メーカーへの県内企業の紹介

- ・JAXA角田宇宙センターのニーズに合った県内企業等による技術交流会
- ・マッチング機会の創出

イ) 東北宇宙産業検討会

- ・東北経済産業局が主体の東北宇宙産業検討会にオブザーバー参加



2(7) 重点テーマに基づく事業計画

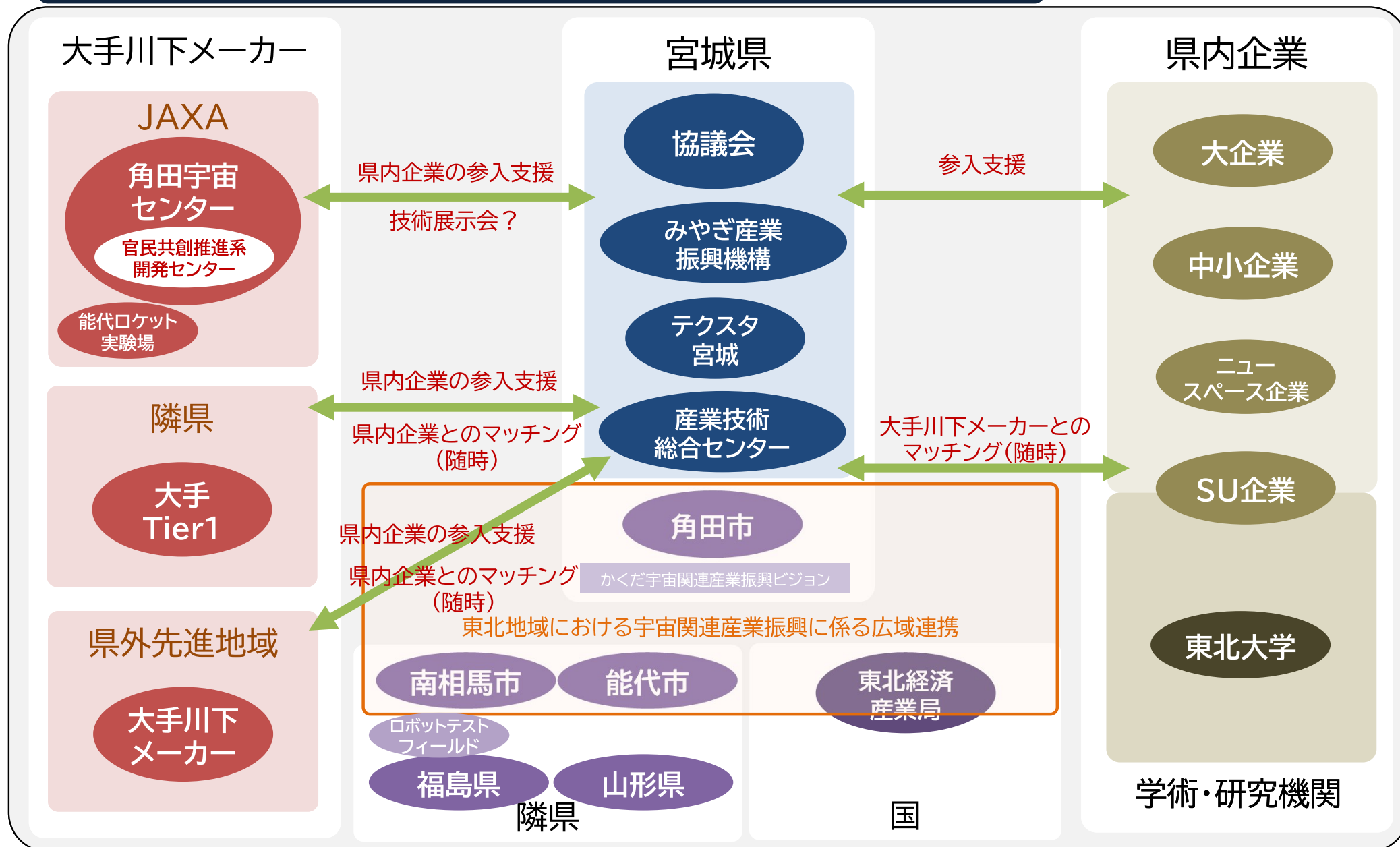
地域イノベーション創出

参入促進

技術高度化

航空宇宙

5 宇宙産業への県内企業の参入促進



【参考】官民共創推進系開発センター

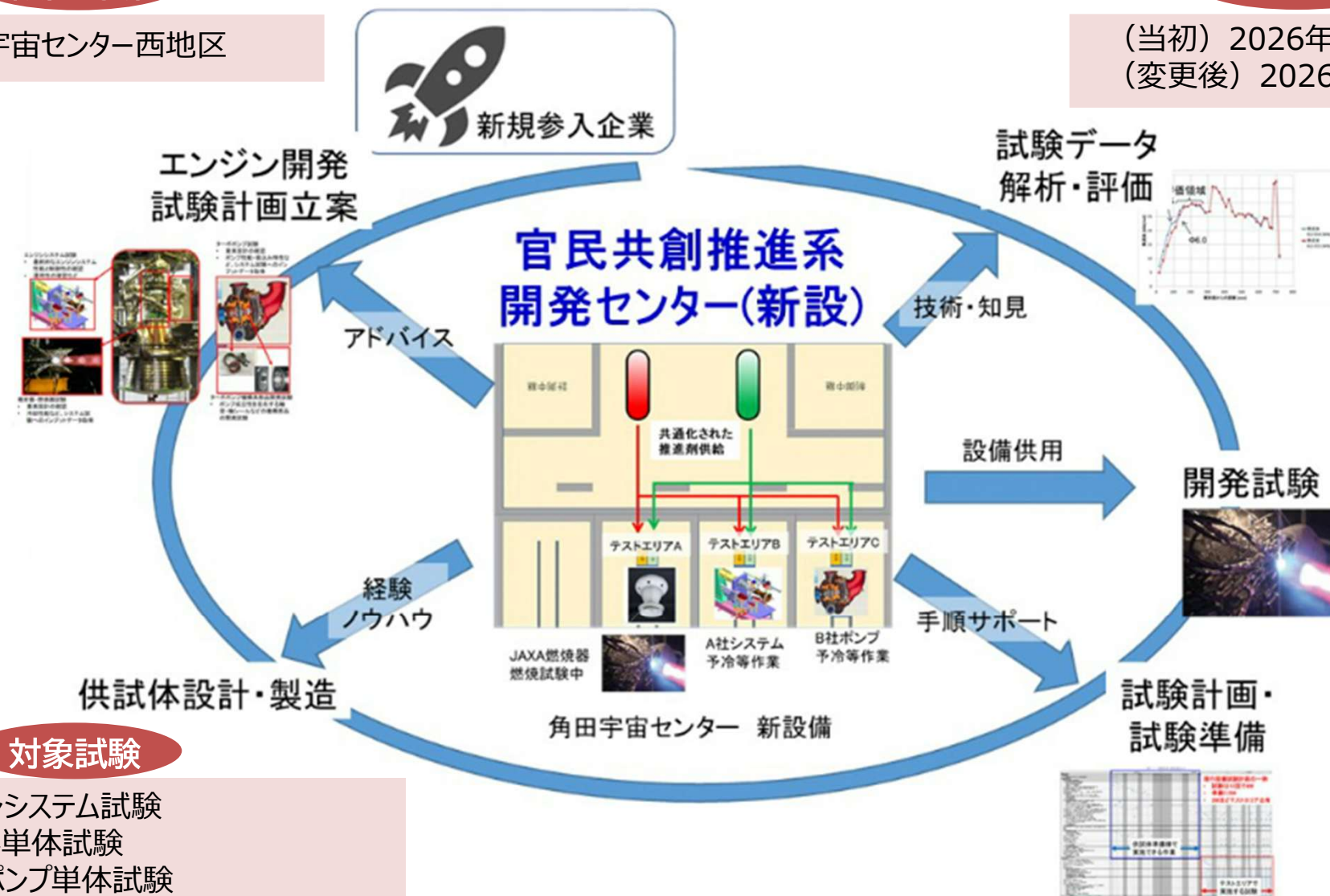
＜官民共創推進系開発センター イメージ図＞

設置場所

角田宇宙センター西地区

運用開始

(当初) 2026年4月
(変更後) 2026年夏後半



JAXA・HP「官民共創推進系開発センターの機能」から引用

2(8) 事務局体制

メンバー	人数	役割
参与(高度電子技術産業集積担当)	1名	■ 全体総括／協議会活動との調整
高度電子機械産業振興コーディネーター	2名	■ 各プロジェクト事業の運営・調整 ■ 企業発掘・課題・ニーズ収集、伴走型支援調整
高度電子機械産業振興アドバイザー	UP! 4名	■ 市場参入に向けた指導・助言
産業技術総合センター担当職員	適時	■ 技術支援、関係機関との調整 ■ 競争的資金の獲得に向けた情報収集・支援等
新産業振興課担当職員	UP! 6名	■ 協議会運営事務



3 令和8年度 事業計画概要(案)

(1) 総会・講演会・交流会、幹事会等、
事業企画ワーキンググループ

(2) 協議会事業

- ① 市場・技術セミナー
- ② 展示会出展支援
- ③ 取引創出・拡大
- ④ 情報発信
- ⑤ 他団体との連携
- ⑥ 人材育成
- ⑦ その他
- ⑧ 関連事業

(3) 主要スケジュール

3(1) 総会・講演会・交流会、幹事会等、事業企画ワーキンググループ

① 総会・講演会・交流会（みやぎ自動車産業振興協議会との共催）

月 日	令和8年7月23日(木) 15:00～18:30	
場 所	仙台サンプラザ(仙台市宮城野区榴岡5丁目)	
内 容	ア 講演会 15:05～16:05	演題:「(仮)トヨタが描く未来都市と日本のものづくり企業の次なる市場」 講師: ウー・バイ・トヨタ株式会社 市川 恭崇 氏
	16:05～16:35	演題:「(仮)フィジカルAI×製造現場」※訂正 講師: 株式会社マクニカ
	16:35～16:45	県からの事業紹介(生産現場AI活用、CN、人材育成補助金など)
	16:45	閉 会
	イ 交流会 17:00～18:30	軽食を交えた交流会(事前申し込み制)

※ 総会は書面開催を予定

② 幹事会等

第1回	5月26日(火)	令和7年度事業実績、令和8年度事業計画(案) 等
役員ヒア	8月中旬～9月中旬	幹事企業訪問(今後の協議会事業についてヒアリング)
第2回	11月17日(月) or 11月27日(木)	事業進捗状況、令和9年度の事業方針 等

③ 事業企画ワーキンググループ

第1回	10月上旬～下旬	事業進捗状況、令和9年度以降の事業方針 等
第2回	3月下旬	協議会事業の方向性検討

3(2) 協議会事業 [①市場・技術セミナー]

重点分野及び新産業分野の市場・技術理解の促進により、取引拡大や参入機会の創出を図るなどを目的として、前年度アンケート結果等を踏まえながら、計画的、かつ、継続的に開催（関係機関・団体、学術機関等とも連携・共催し、他テーマでも積極的に開催）

分野	テーマ	区分	内容(予定)	開催時期(予定)
全 体	UP! 営業力強化	拡充	①展示会出展前セミナー ②展示会での接客スキルアップ支援 ③展示会初心者向けセミナー	①～③ 5月～7月
	NEW 経営力・競争力強化	新規	経営マインド向上セミナー(新規参入促進セミナー)	11月
	UP! AI・IoT、生産性向上	拡充	①AI・IoT内製化促進セミナー、②画像AI体験会、③IoT体験会、 ④生成AI活用体験会	① 8月～9月 ② 6月～2月
	3Dプリンター	継続	①関連産業の最新動向 ②3Dプリンターの生産現場における活用	7月、11月、2月
	自動化、ロボット	継続	自動化、ロボット導入支援	12月
	デジタル化推進(DX)	継続	①有識者によるDX推進に関する基調講演、マッチング等 ②階層ごとのセミナー、若手社員対象のワークショップ等	① 9月～12月 ② 9月～2月
半 導 体	NEW 台湾ビジネスマッチング	新規	台湾市場動向及び商談実務(商習慣、進め方)への理解促進	6月～7月
	半導体基礎講座	継続	半導体及び半導体製造装置の基礎	8月、3月
	半導体分野市場動向	継続	半導体・半導体製造装置の市場動向及びデバイス技術	11月
エ ネ	エネ分野市場動向	継続	脱炭素、省エネ・再生エネ、Liイオン電池 等	1月
医 療	医療機器分野市場動向	継続	川下企業、参入企業等からの講演	2月
	NEW 福祉機器分野市場動向	新規	福祉機器の市場動向、参入企業からの講演	8月
航 空 宇 宙	航空機分野市場動向	継続	川下企業、参入企業等からの講演	11月
	宇宙分野市場動向	継続	川下企業、参入企業等からの講演	1月

3(2) 協議会事業 [②展示会出展支援]

ア) 令和8年度出展計画（国内）

対 象	名 称	区分	日 程	場 所	小間	募集枠
全 体	第31回機械要素技術展 (第38回日本ものづくりワールド)	継続	7/1～3	東京ビッグサイト	4	10社 募集終了
	ネプコンジャパン2027 (第17回微細加工EXPO)	継続	2/17～19	東京ビッグサイト	募集予定 (数社程度)	
半 導 体	セミコン・ジャパン2026	継続	12/9～11	東京ビッグサイト	募集予定 東北ブースで出展予定 (10社程度)	
	CR2Pjオープンハウス	継続	10/14	グランメッセ熊本	募集予定 (数社程度)	
エ ネ	第15回ふくしま再生可能エネルギー産業 フェア(REIF ふくしま2026)	継続	10/15～16	ビッグパレットふくしま	募集中 (数社程度)	
医 療	メディカルクリエーションふくしま2026	継続	10/1～2	ビッグパレットふくしま	3社 募集終了	

3(2) 協議会事業 [②展示会出展支援]

イ) 令和8年度出展計画（海外）

対 象	名 称	区分	日 程	場 所	小間	募集枠
半導体	NEW SEMICON Taiwan	新規	9/2~4	TaiNEX 1 & 2(台湾)	6	(6社) 募集期間 (~5/21)

※上記展示会の「新規」については、協議会事業としての実施が初の意



3(2) 協議会事業 [③取引創出・拡大]

ア) 技術交流会・商談会

- ・ 川下企業等を会場に、会員企業の技術プレゼンや製品提示を実施
- ・ みやぎ産業振興機構と連携し、特に首都圏等エリアの大手川下企業のニーズ収集強化を図るためのマッチング推進員と県内マッチング専門員を配置し、取引創出・拡大を図る。

区 分	みやぎ高度電子機械産業振興協議会	みやぎ産業振興機構
事業名	—	ビジネスマッチング強化促進事業
担 当	新産業振興課・産業技術総合センター	取引支援課
担当者	事務局員・コーディネーター ・ 参与、高度電子班員6名 ・ コーディネーター2名	マッチング推進員・マッチング専門員 ・ マッチング推進員 重点分野 2名 ・ マッチング専門員 2名（県内企業対応）
対象者	高度電子機械産業分野の大手メーカー	重点3分野の大手メーカー及び県内企業間
エリア	（主に）県内及び隣県エリア	（主に）県内及び首都圏エリア
実施内容	・大手メーカーの開発・試作ニーズ収集 ・技術交流会／個別商談等実施	・大手メーカーの発注ニーズの収集 ・受発注企業個別商談会開催（首都圏／県内）

イ) 個別企業紹介／あっせん

- ・ 事務局で川下企業等訪問や紹介依頼を通じて発注ニーズを把握し、会員企業を個別あっせん
- ・ みやぎ産業振興機構の取引あっせん事業とも連携し、成約率の向上と効率化を図る。

3(2) 協議会事業 [④情報発信]

ア) 県内ものづくり企業紹介サイトによる会員企業のPR

- ・ 企業紹介サイトを通じ、県内外に会員企業をPRすることで、取引創出・拡大を図る

【掲載企業】

みやぎ高度電子機械産業振興協議会会員

みやぎ自動車産業振興協議会会員

イ) HP・メーリングリスト等々による会員への情報発信

- ・ 会員企業に有益な各種情報(セミナー、展示会、補助金等)をHPやメールで発信
- ・ 協議会事業のみならず、関係機関・団体、学術機関等の情報も収集、随時発信

ウ) 会員企業の基盤技術の情報提供

- ・ 会員企業の基盤技術に応じて、受注獲得が見込まれる川下企業等へ随時発信

3(2) 協議会事業 [⑤他団体との連携]

ア) 産学連携での共同研究、会員企業と学術機関とのマッチングの推進

- ▶ 学術機関のシーズ・ニーズを随時収集し、会員企業とのマッチングの機会を創出
- ▶ 実証実験等への会員企業の参画促進
- ▶ 研究や実証等で学術機関に出入りする大手メーカーとの交流・マッチングの機会を創出
- ▶ 県補助メニュー等も活用した産学連携による共同開発・製品化の促進

イ) 学術機関による技術課題等の解決支援

- ▶ (継続)「KCみやぎ」による課題解決支援
- ▶ (継続)「東北大学地域産業支援アドバイザー制度」による課題解決支援
 - ・ 学内研究者をアドバイザーとして派遣
(研究開発・ものづくり・人材育成・まちづくり等幅広い分野に対応)
 - ・ 企業 ⇒ 自治体 ⇒ 大学のフローで課題対応

ウ) 東北大学とのセミナー・講習会の共同開催

エ) 学術機関との情報共有化・交流促進

- ▶ 展示会出展情報や学会等の情報を相互に共有し、会場内で学術機関と会員企業との交流促進

オ) 産業支援機関・団体等との連携強化

- ▶ みやぎ産業振興機構・みやぎ工業会等と連携し、効率的・効果的な事業を展開
(新分野・新市場への進出に積極的な若手経営者のネットワーク形成支援など)

3(2) 協議会事業 [⑥人材育成]

ア)DX経営人材育成支援事業の推進

デジタル技術の積極的活用により、生産性向上、人手不足解消等を図るとともに、企業としての競争力強化や成長発展を目指す中核人材を育成するため、経営者、幹部候補等を対象としたDX経営人材育成支援事業を実施

- ・ 講座名称 「DX経営人材育成塾」
- ・ 受講対象 県内中小企業(主にモノづくり企業)の経営者、後継候補者、幹部候補者、中核人材
- ・ 期 間 令和8年6月～12月 (1～2回／月の予定)
- ・ 受講者数 12名+α
- ・ 主な内容 12日(座学講義8日、実地研修4日)
みやぎ産業振興機構の登録専門家、民間有識者、学術機関等によるAI・IoT、DX戦略、情報セキュリティ等のデジタル化・DXにフォーカスした講義等

イ)みやぎ高度電子機械人材育成センターによる技術研修の実施

理工系大学、高専学生を対象とした実践的な研修による若手技術人材育成等

- ・ 研修名称 みやぎエンジニア夏期セミナー
- ・ 研修期間 令和8年8月17日～8月21日(5日間)
- ・ 受講者数 40名(予定)
- ・ 主な内容 学術機関施設見学／エンジニア体験実習／みやぎ高度電子機械関連企業の紹介
／エンジニアカフェラウンジ
- ・ 対応企業 東北大学マイクロシステム融合研究開発センター、アイリスオーヤマ(株)
東京エレクトロン宮城(株)、リコーインダストリー(株)、エトリア(株) など

3(2) 協議会事業 [⑦その他]

ア) みやぎ高度電子機械産業振興アドバイザー派遣

県内企業からの要請等に基づき、必要に応じてアドバイザーを派遣

【アドバイザーの主な業務】

- ・ 県内企業等に対する高度電子機械市場参入に向けた指導・助言
- ・ 高度電子機械市場に関する情報収集と県内企業等への情報提供 など

イ) 工場見学・交流会

- ・ 工場見学の実施
- ・ セミナー後の交流会の開催



ウ) 薬機法申請支援

- ・ 宮城県保健福祉部薬務課と連携して、県内企業の薬機法申請を支援
- ・ 医療・健康機器分野ADによる医療機器製造販売業許可・製造業登録を含めた薬事対応等の助言を実施

3(2) 協議会事業 [⑧関連事業-DX]

ア) 身の丈DXラボ連携事業(産業技術総合センター)

デジタル技術を活用した生産性向上や省力化等の取組が不可欠になる一方で、デジタル人材や資金の不足、相談先や活用イメージが沸かないといった中小企業の課題に寄り添い(伴走支援)、生産性向上や競争力強化に寄与する、AI・IoTの活用人材育成事業を実施しています。

- ・ R8年度のAI・IoTの活用人材育成事業については、委託事業として実施。

	項目	内容
セミナー	時期	令和8年8月～9月(協議で決定) ※人材育成の開始前に実施すること。
	会場	県内貸会議室及びオンライン(ハイブリッド形式) 会場定員70名、オンライン定員70名程度
	内容	AI・IoT内製化促進セミナー
	セミナー仕様	① AI・IoT内製化活用を促進する講演 ② 中小製造業者におけるAI・IoT内製化事例紹介 ③ 本人材育成の周知を行うこと ④ ①～③のほか、県内の中小製造業者のAI・IoT活用促進に有効と考える内容
人材育成	時期	令和8年10月～令和9年2月(協議で決定)
	会場	県内4地域の合同庁舎会議室(大崎、大河原、石巻、登米又は気仙沼)
	対象者	県内中小製造業者等
	参加規模	参加者各回10社、20名 (合計: 4会場×4回×(10社、20名)=160社、320名程度)
	人材育成仕様	① 身の丈DXラボの取組みと連携した内容であること。 ② ものづくり現場でのAI・IoTの内製化活用に効果的な内容であること。 ③ 画像AI体験会(各会場2回)、IoT体験会(各会場1回)、生成AI活用体験会(各会場1回) (合計: 4会場×4回=16回) ④ ①～③のほか、県内の中小製造業者のAI・IoT活用促進に有効と考える内容

3(2) 協議会事業 [⑧関連事業-魅力発信]

ア) 宮城県ものづくり産業魅力発信イベント(小中学生向けイベント)

- ・県内ものづくり産業の一層の振興に向け、**県内小中学生とその保護者**を対象に、**体験や実習**を中心としたイベントを開催することにより、**ものづくりへの興味・関心**を高めるとともに、それらの魅力を発信し、**将来、担い手となる人材の裾野拡大**等を図る。
- ・公募型プロポーザル方式(企画提案募集)で委託事業者を決定する。

○事業内容(業務委託仕様書より抜粋)

開催時期	令和8年7月～2月
開催回数	5回以上
開催場所	県内の複数圏域
参加対象者	小中学生及びその保護者
プログラム	以下の内容を含むもの(事業者決定後、協議の上決定) (1)ものづくりに関する体験、実習、ワークショップ等(必須) (2)県内ものづくり企業の紹介(任意) (3)その他、ものづくり産業に対する興味関心を高めるもの(任意)

○昨年度開催の様子

※昨年度は「半導体産業等ものづくり産業魅力発信イベント企画運営等業務」として実施



3(3) 令和8年度 主要スケジュール

開催月	総会 講演会等	協議会事業		
		セミナー	展示会	その他
04				・訪問ニーズ調査
05	幹事会	UP! ・営業力強化【全】		・BM／産産連携
06				・台湾ビジネス マッチング NEW
07	総会・講演会 ・交流会	NEW ・台湾ビジネスマッチング【半】 UP! ・3Dプリンター【全】 UP! AI/IoT【全】	・機械要素技術展【全】	・ヨーロッパビジ ネス交流促進 NEW
08	役員ヒア	・半導体基礎【半】 NEW ・福祉機器【医】		
09	役員ヒア	・DX(基調講演、マッチング等)【全】 ・DX(ワークショップ等)【全】	・SEMICON Taiwan【半】	
10	WG		・メディクリふくしま【医】 ・CR2Pj【半】 ・REIFふくしま【エネ】	
11	幹事会	NEW ・経営力・競争力強化【全】 ・3Dプリンター【全】	・半導体【半】 ・航空機【航】	
12		・自動化、ロボット【全】	・セミコンジャパン【半】	
01		・エネルギー【エネ】 ・宇宙【航】		
02		・医療機器【医】 ・3Dプリンター【全】	・ネプコンジャパン【全】	
03	WG	・半導体基礎【半】		

4 令和8年度 県の主な技術開発・取引拡大等支援事業

- ・ 県の支援メニューを活用し、技術・試作開発、取引拡大、新分野参入、デジタル化等を推進
- ・ 幅広い事業者のデジタル化推進を図るため、AI・IoT補助金の対象者の要件を緩和
（「地域未来牽引企業」又は「直近3期決算平均売上高5億円以上」などの項目を撤廃）
- ・ 生成AIの活用推進を図るため、デジタル化補助金に生成AI枠を新設

種別	名 称	区分	内 容	補助率等
技術 試作開発 関連	新規参入・新産業創出等支援補助金 【成長分野参入支援型】	継続	川下企業、大学等からのニーズに対する試作開発等 経費の一部支援 ＜募集期間＞ 4/10～9/30(随時募集)	補助率1/2 ※小規模企業 補助率2/3 上限3,000千円
	新規参入・新産業創出等支援補助金 【地域イノベーション創出型】	継続	産学官連携による技術・製品開発等の経費の一部を 支援(最長2年間) ＜募集期間＞ 4/10～5/29	補助率1/2 ※小規模企業 補助率2/3 上限5,000千円
	新規参入・新産業創出等支援補助金 【グループ開発型】	継続	産産連携・産学連携のグループの研究・技術開発費用 の一部を支援(最長3年間) ＜募集期間＞ 4/10～5/29	補助率1/2 上限10,000千円/年
	医療分野参入促進事業 【試作開発型】	継続	試作開発、薬事対応、販路開拓等、医療・健康機器市 場参入を目指して取り組む経費の一部を支援 ＜募集期間＞ 4/10～5/29	補助率1/2 ※小規模企業 補助率2/3 上限5,000千円
	医療分野参入促進事業 【販路開拓型】	継続	試作開発品の販路開拓に取り組む経費の一部を支援 ＜募集期間＞ 4/10～5/29	補助率1/2 ※小規模企業 補助率2/3 上限1,500千円

4 令和8年度 県の主な技術開発・取引拡大等支援事業

種別	名 称	区分	内 容	補助率等
開 技 発 術 試 作	金属粉末積層3Dプリンター利用補助金	継続	試作開発や自社の生産性向上のために金属3Dプリンターを利用する経費の一部を支援 ＜募集期間＞ 4/10～12/11(随時募集)	補助率1/2 ※小規模企業補助率2/3 上限1,500千円
新規 参入	高度電子機械産業国際認証取得奨励金	継続	航空機及び医療・健康機器市場への参入を目指して、JISQ9100、ISO13485等の認証取得経費の一部を支援 ＜募集期間＞ 4/1～(随時募集)	500千円 ※コンサル指導有1,000千円
デ ジ タ ル 化	UP! ものづくり中核企業AI・IoT先進技術導入補助金	継続	AI・IoT等を活用した生産性向上、省力化等に向けた技術開発や導入に要する経費の一部を支援 ＜募集期間＞ 4/10～6/26	・県内IT関連企業と連携する場合:補助率2/3 ・県外IT関連企業と連携する場合:補助率1/2 上限10,000千円
	UP! 中小企業等デジタル化支援事業(デジタル化導入補助)	継続	生産性向上等を目的とした県内中小企業等のデジタル化の取組についてアドバイザー派遣及び導入経費の一部を補助 ＜相談受付期間＞ 5月18日～ ＜募集期間＞ 5月18日～7月10日、31日 (補助メニューで締め切りが異なる) ＜メニュー＞ 通常枠:デジタル化の取組を支援 AI枠:人工知能による分析等でのデジタル化取組を支援 発展・展開枠:過去に通常枠を活用した事業者の更なるデジタル化の取組を支援	補助率1/2 上限2,500千円 下限 500千円 ※所定の賃上げを行った場合、補助上限額に500千円を加算。



引き続き当協議会へのご協力
宜しくお願い申し上げます